

令和8年度 由布市の教育方針 【用語解説】

	用 語	解 説
I	ICT	Information and Communication Technology（情報通信技術）の略で、情報や通信に関する科学技術の総称。コンピュータはもちろんのこと、電子黒板・実物投影机・動画教材・プレゼンテーションソフトなどを活用するもの。
I	ICTアドバイザー	ICT（情報通信技術）の導入や活用に関する専門的な知識や経験を持つ人
I	ICT支援員	学校における教職員のICT活用（例えば、授業、校務、教員研修等の場面）をサポートし、教職員がICTを活用した授業等をスムーズに行えるよう支援する人材
Q	Q-U調査	子どもの学級における満足度や生活意欲等をアンケートによって調べるもので、年2回市内全ての小・中学校で実施している。
い	生きる力	文部科学省の学習指導要領で定義された、変化の激しい現代社会を生き抜くための「知・徳・体」のバランスの取れた能力のこと。
い	インクルーシブ	年齢・性別・国籍・障がいの有無など、人々の多様な背景や特性に関わらず、誰もが平等に受け入れられ、参加し、尊重される状態や考え方
う	ウェルビーイング	身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを指す概念
か	架け橋期のカリキュラム	子どもに関わる大人が立場を越えて連携し、架け橋期（義務教育開始前後の5歳児から小学校1年生の2年間）にふさわしい主体的・対話的で深い学びの実現を図り、一人一人の多様性に配慮した上で全ての子どもに学びや生活の基盤を育むことを目指すカリキュラム
き	教育支援センター「コスモス」	「学校に行きたくても行けない」「人と関わることに不安がある」「人がたくさんいると緊張する」などと悩んでいる子どもに対し、体験活動・共同活動・学習活動を行いながら、心の安定を図り、主体的に社会的自立に向かうよう支援し、学校（社会）復帰、集団適応等を目指して活動している。
こ	校務支援システム	学校における教職員の業務を効率化するためのシステム
こ	個別の教育支援計画	障がいのある子ども一人ひとりのニーズを的確に把握し、教育の視点から適切に対応するという考え方のもと、医療・保健・福祉・労働等の関係機関との連携を図りつつ、乳幼児期から学校卒業後までの長期的視点に立ち一貫した教育的支援を行うことを目的として、学校が主体となって作成する支援計画
こ	個別の指導計画	障がいのある子ども一人ひとりの障がいの状態等に応じたきめ細かな指導を行うために、各学校の教育課程や各教科等の指導計画等を踏まえ、各教科等別あるいは単元・題材別の個別目標、指導内容・方法を盛り込んだ指導計画
さ	サウンディング調査	公有地や施設の有効活用を検討する際、民間事業者と対話し、市場性の有無、活用アイデア、参入しやすい条件などを把握する官民連携の調査手法
す	スクールカウンセラー	子どもの臨床心理に関して高度な専門知識を有する公認心理師等で、不登校やいじめ等、児童生徒の問題行動等に対応するため、カウンセリングや教職員への助言等を行う職員
す	スクールソーシャルワーカー	福祉に関して専門的な知識・技術を有する社会福祉士等で、子どもや家庭が置かれた様々な環境の問題（不登校・いじめ・暴力行為・虐待等）の背景や原因を見極め、子どもや家庭に働きかけるだけでなく、医療機関や福祉機関、警察等と連携して問題解決に向け働きかけを行う職員
ち	中学校区ネットワーク会議	中学校区内の学校、地域団体、保護者などが連携し、子どもたちの成長を支えるための活動や情報を共有する会議。地域の課題解決やより良い教育環境の構築を目指すもの。
て	デジタルスキル	DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進・活用するために必要なデータやデジタル技術の知識・能力のこと。
と	特別支援員	幼稚園や小学校、中学校、高等学校において、障がいのある子どもや支援を必要とする児童生徒の日常生活動作の介助（食事・排泄・移動など）や学習サポートを行う職員
と	特別支援兼就学相談員	児童生徒の保護者からの教育や就学等に関する相談を受ける職員
に	人間関係づくりプログラム	児童生徒同士の良好な人間関係を築くため、自己理解・他者理解等を深める全員参加型の体験的プログラム
ふ	部活動の地域展開	少子化や教員の負担軽減を目的に、中学校・高等学校の部活動を地域のクラブ・団体へ段階的に移す取組
ふ	ふるさと探検部	主に子どもや地域住民が、自分たちの住む地域の自然、歴史、文化、産業等の「地域資源」を再発見し、体験を通じてふるさとへの愛着を育む活動
ふ	文化財保存活用地域計画	市町村における文化財の保存・活用に関する基本的なマスター・プラン及びアクション・プランとなるもの。文化庁長官から認定された場合は、国の登録文化財候補を市町村から提案できるなど、未指定文化財の保護推進が期待できる。

	用語	解説
ま	まなびの情報誌	各公民館が主催する講座、各公民館で活動する社会教育支援団体（由布市の登録を受けた社会教育活動を行う団体）、市立図書館などの情報をまとめた冊子
ゆ	由布市学校施設長寿命化計画	市内の学校施設の長寿命化を図るための計画。中長期的な視点から、学校施設の機能や役割を考慮し、改修や改築の方向性、優先順位などを設定することで、施設整備にかかるコストの削減、財政負担の平準化、児童生徒の安全確保、教育環境の充実を目指すもの。
ゆ	由布市公共施設個別計画	市が所有する公共施設の老朽化や利用状況、課題などを分析し、10年間（2018年度～2027年度）の更新、維持、複合・集約化などの方針をまとめた計画
ゆ	由布市版人材リスト	教員免許状を保有する人材等をまとめたリストの由布市版
ゆ	由布市わくわくスポーツDAY	スポーツの楽しさを体験し、始めるきっかけづくりを目的とした、市が主催するイベント
ゆ	由布の学び検定	市の自然、文化、歴史等を題材にした小・中学生と由布高生対象の検定
ゆ	木綿（ゆふ）の山通信	市報ゆふにおいて、市の文化財等の紹介をするコーナー
ゆ	ゆふポ	由布市の公式アプリ。災害時などの緊急時の情報を配信したり、健診などのオンライン予約やまちの課題を投稿する機能などがある。
ゆ	ゆふポきらきら教室	障がいのある人が学校卒業後も生涯にわたり、地域で教育、文化、スポーツなど多様な学習活動に主体的に参加できるよう支援する取組
り	リアル×デジタル	教育分野においては、従来の対面授業（リアル）とオンライン授業（デジタル）を組み合わせ、それぞれの利点を活かした教育方法を指す。
わ	わんぱくサマーチャレンジ	社会教育課とスポーツ振興課共催で夏休みに実施している市内在住の小学5年生から中学3年生までの児童生徒を対象にしたイベント。登山やスポーツ、施設見学など、数日間にわたり様々な活動が体験できる。